

**2020年12月期
第2四半期 決算説明資料**

株式会社 船場

証券コード：6540

2020年8月24日

2020年12月期 第2四半期 決算説明資料

I. 第2四半期決算の概況

II. 通期の業績見通し

(参考) 企業概要

I

第2四半期決算の概況

感染症拡大の影響を受け減収減益

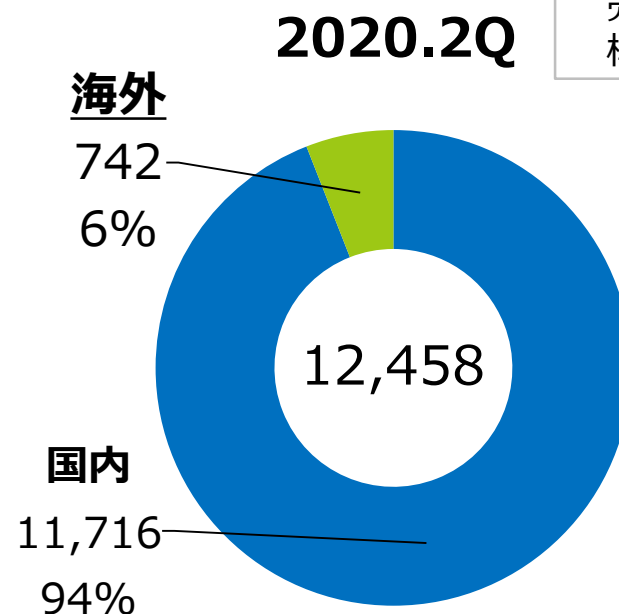
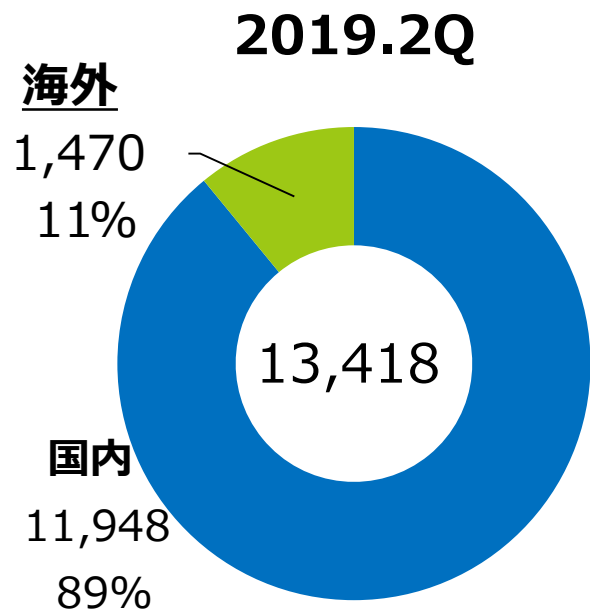
単位：百万円

科目	2019.2Q		2020.2Q		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	13,418	100.0%	12,458	100.0%	92.9%
売上原価	11,430	85.2%	10,569	84.8%	92.5%
売上総利益	1,987	14.8%	1,889	15.2%	95.0%
販管費	1,468	10.9%	1,372	11.0%	93.5%
営業利益	519	3.9%	516	4.1%	99.4%
営業外収益	42	0.3%	43	0.4%	104.4%
営業外費用	12	0.1%	23	0.2%	181.0%
経常利益	548	4.1%	537	4.3%	97.9%
特別利益	0	0.0%	16	0.1%	—
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	—
税引前利益	548	4.1%	553	4.4%	100.9%
法人税等	176	1.3%	210	1.7%	119.3%
当期利益	372	2.8%	343	2.8%	92.2%

海外経済の停滞が影響

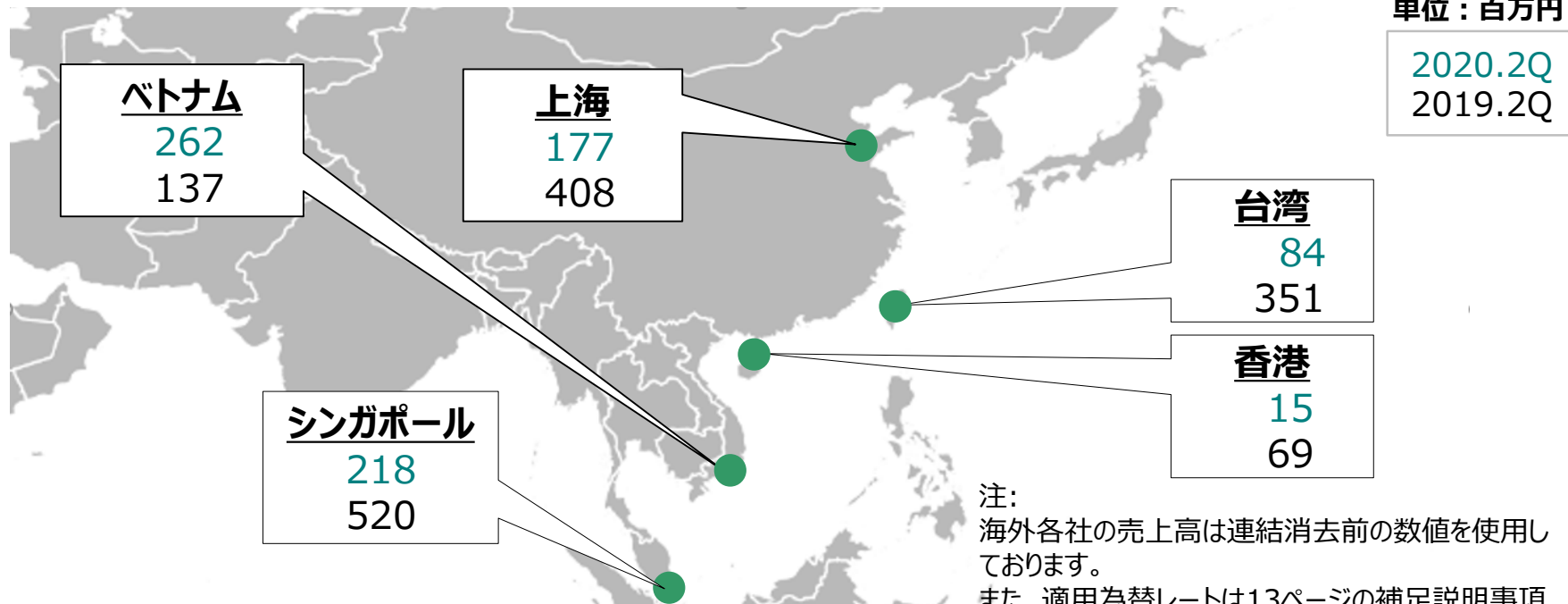
単位：百万円

売上高
構成比



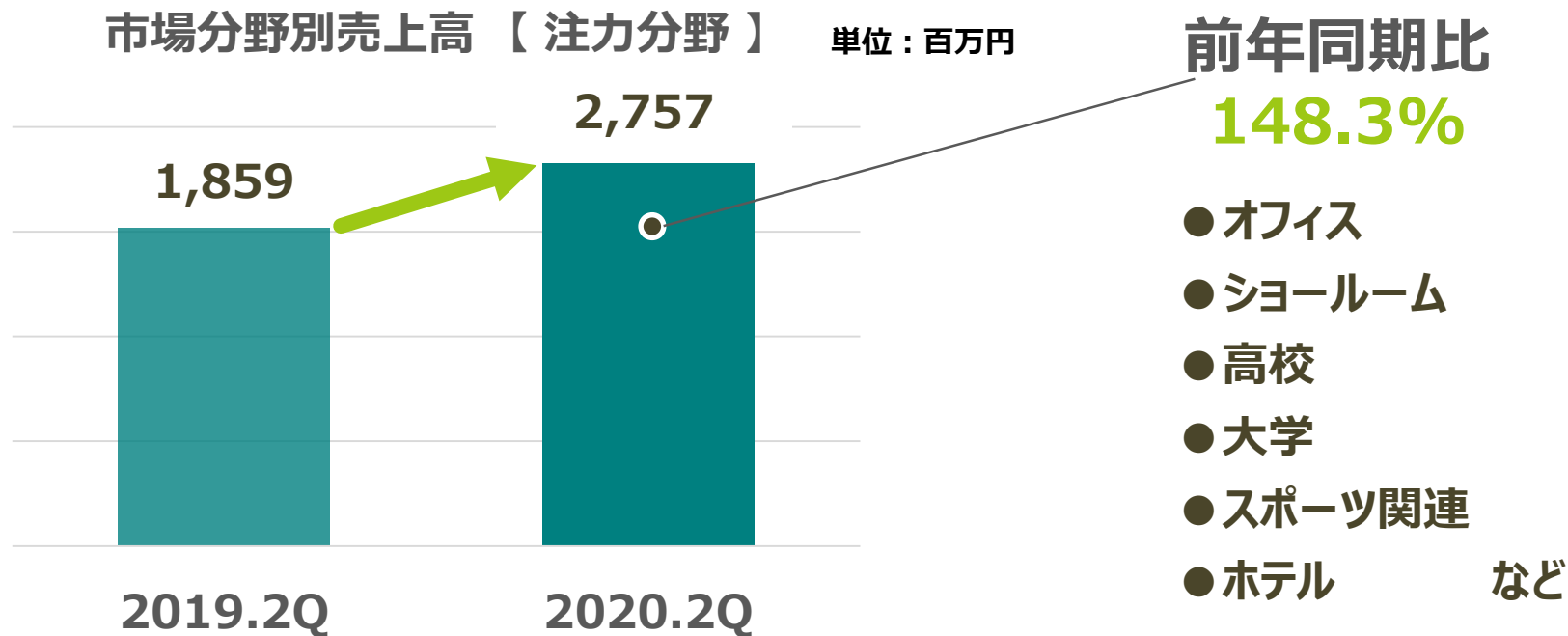
注：数値は連結消去後の数値を使用しております。また、適用為替レートは13ページの補足説明事項をご覧ください。

中華圏は大きく売上減



注：
海外各社の売上高は連結消去前の数値を使用しております。
また、適用為替レートは13ページの補足説明事項をご覧ください。

注力分野の深耕が進む



注力分野が48.3%伸長


単位：百万円

市場分野	2020.2Q	
	売上高	
	金額	前年同期比
専門店	5,028	103.7%
大型店・複合商業施設	4,673	69.6%
注力分野	2,757	148.3%
合計	12,458	92.9%

販管費を1億円削減

単位：百万円

	2019.2Q	2020.2Q
販管費	1,468	1,372
売上高販管費比率	10.9%	11.0%



売上高減少により売上債権が減少

単位：百万円

科目	2019.12末		2020.6末		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比
現金預金	8,568	45.9%	7,797	43.9%	91.0%
売上債権	6,337	34.0%	5,896	33.2%	93.0%
棚卸資産	1,179	6.3%	1,461	8.2%	124.0%
その他流動資産	317	1.7%	245	1.4%	77.5%
流動資産計	16,403	87.9%	15,401	86.8%	93.9%
有形固定資産	679	3.6%	671	3.8%	98.9%
無形固定資産	131	0.7%	199	1.1%	152.0%
投資その他の資産	1,448	7.8%	1,475	8.3%	101.9%
固定資産計	2,258	12.1%	2,346	13.2%	103.9%
総資産計	18,661	100.0%	17,748	100.0%	95.1%

売上高減少により仕入債務も減少

単位：百万円

科目	2019.12末		2020.6末		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
仕入債務	5,662	30.3%	5,117	28.8%	90.4%
その他流動負債	1,405	7.6%	1,168	6.6%	83.2%
流動負債計	7,067	37.9%	6,286	35.4%	88.9%
退職給付引当金	840	4.5%	752	4.2%	89.6%
その他固定負債	164	0.9%	171	1.0%	104.2%
固定負債計	1,005	5.4%	924	5.2%	92.0%
純資産	10,588	56.7%	10,537	59.4%	99.5%
負債資本計	18,661	100.0%	17,748	100.0%	95.1%
(参考) 自己資本比率		56.7%		59.4%	

期末残高は7,207百万円

単位：百万円

科目	2019.2Q	2020.2Q	前年同期比
	金額	金額	差額
営業CF			
税引前当期利益	548	553	5
運転資本増減 等	▲597	▲497	100
税金	▲211	▲248	▲37
営業活動CF計	▲260	▲192	68
投資CF	514	▲108	▲623
財務CF	▲394	▲450	▲55
現金及び現金同等物 増減	▲165	▲772	▲606
現金及び現金同等物 期末残高	6,931	7,207	275

前年同期は投資
有価証券の償還
による

受注残高は4,428百万円

単位：百万円

市場分野	2020.2Q	
	受注残高	
	金額	前年同期比
専門店	1,245	70.2%
大型店・複合商業施設	2,297	60.4%
注力分野	886	93.2%
合計	4,428	67.8%

【第2四半期決算状況の補足説明事項】

適用為替レート

2019.2Q:

HKD 14.03/TWD 3.55/SGD 80.99/CNY 16.20/VND 0.00482

2020.2Q:

HKD 13.95/TWD 3.61/SGD 77.41/CNY 15.38/VND 0.00468

予算策定時:

HKD 14.00/TWD 3.50/SGD 85.00/CNY 17.00/VND 0.0052

現金及び現金同等物の定義

現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。



©Nacása & Partners Inc. FUTA Moriishi.

ファンケル銀座スクエア：2020年8月グランドオープン



2003年に開業した旗艦店を、創業40周年の節目に内装を一新。

10階建ての施設全体を統一した世界観でまとめ、新たな情報発信拠点となる空間を創出。

(全体デザイン、基本及び実施設計、サイン計画、施工等を担当)



グランスタ東京：2020年8月グランドオープン



「グランスタ東京」の共用部通路は、東京・江戸にまつわる伝統工芸を取り入れ、世界に向けて伝統美を発信。

水景をテーマとした個性的なトイレは、他に類のない癒しの空間を演出。

(共用部デザイン、基本及び実施設計、施工等を担当)



獨協医科大学病院アメニティ棟 複合店舗エリア : 2020年4月オープン



豊かな緑に囲まれ高度な医療を提供する獨協医科大学病院に新築されたアメニティ棟の2階、複合店舗エリア。「邸宅」をコンセプトに、落ち着いた雰囲気と清潔感を持たせた重厚な空間を創出。

(空間デザイン、基本及び実施設計、施工等を担当)

感染症拡大予防の対策徹底

勤務における対応

- ・全従業員を対象に**在宅勤務制度を適用**
- ・入社時の**オフピーク出勤の徹底**
- ・**ICT設備の拡充**を推進（オンライン会議システム等の早期対応）

工事現場における対応

- ・現場入場前の検温、マスクの着用、アルコール消毒及び手洗いの**予防対策の徹底**
- ・罹患者発生時の**基本方針を策定**

“ニューノーマル”を見据えた提案

感染症対策支援提案プロジェクト「SEMBA Innovation w/ corona」



■ 対人向け感染防止アイテム 「和扇」「ディスタンスのれん」

感染予防を第一としながらも、商環境が持つ本来の価値を損ねることがないよう、日本の生活に馴染みのあるモチーフや素材を使用し、“居心地の良さ”を追求したデザインとした商品をリリース。

※意匠登録出願中

■ NEW NORMAL Postコロナ（COVID-19）にむけてのSCづくり考察

<https://www.semba1008.co.jp/ja/creation/newnormal.html>

※当社HP掲載中

Ⅱ

通期の業績見通し

投資抑制や計画延期等が懸念

■ 市場環境

⇒ **顧客の業績悪化に伴う投資抑制や開発計画の縮小・延期・中止**

百貨店・量販店 複合商業施設	<ul style="list-style-type: none">・営業時間短縮及び休業による業績への影響・施設開発に向けた投資の抑制や慎重化
専門店・飲食店	<ul style="list-style-type: none">・客数の減少等による業績への影響・新店計画の縮小や中止
余暇施設	<ul style="list-style-type: none">・自粛要請等による国内及び訪日外国人旅行者の減少・興行等の縮小や中止

■ 業務推進

⇒ **資材等の納品遅れや現場事情による納期の延期**

・資材及び什器の海外調達による遅延

・感染関与による工事中断

時代の変わり目と捉えて事業を推進

注力分野の深耕を加速（オフィス、教育、公共空間等）

サステナビリティを意識した改装の提案

“ニューノーマル”に適應した空間創出（予防対策含む）

- 引き続き、当社グループ会社社員、顧客及び協力企業等の関係者の安全と健康を最優先に事業を継続してまいります。

当期中はコロナ禍の影響が残ると想定

単位：百万円

売上高	22,000
営業利益	210
経常利益	250
当期純利益	200
一株当たり当期純利益	19.78 円/株

財務状況・経営的視点を勘案し計画

1株当たり年間配当金	20.0 円/株
配当性向	101.8 %

当期は大変厳しい業績見通しではありますが、株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえ、今後の経営環境や財務の健全性維持及び企業価値の持続的な向上等を総合的に勘案し、上記の年間配当金を予定します。

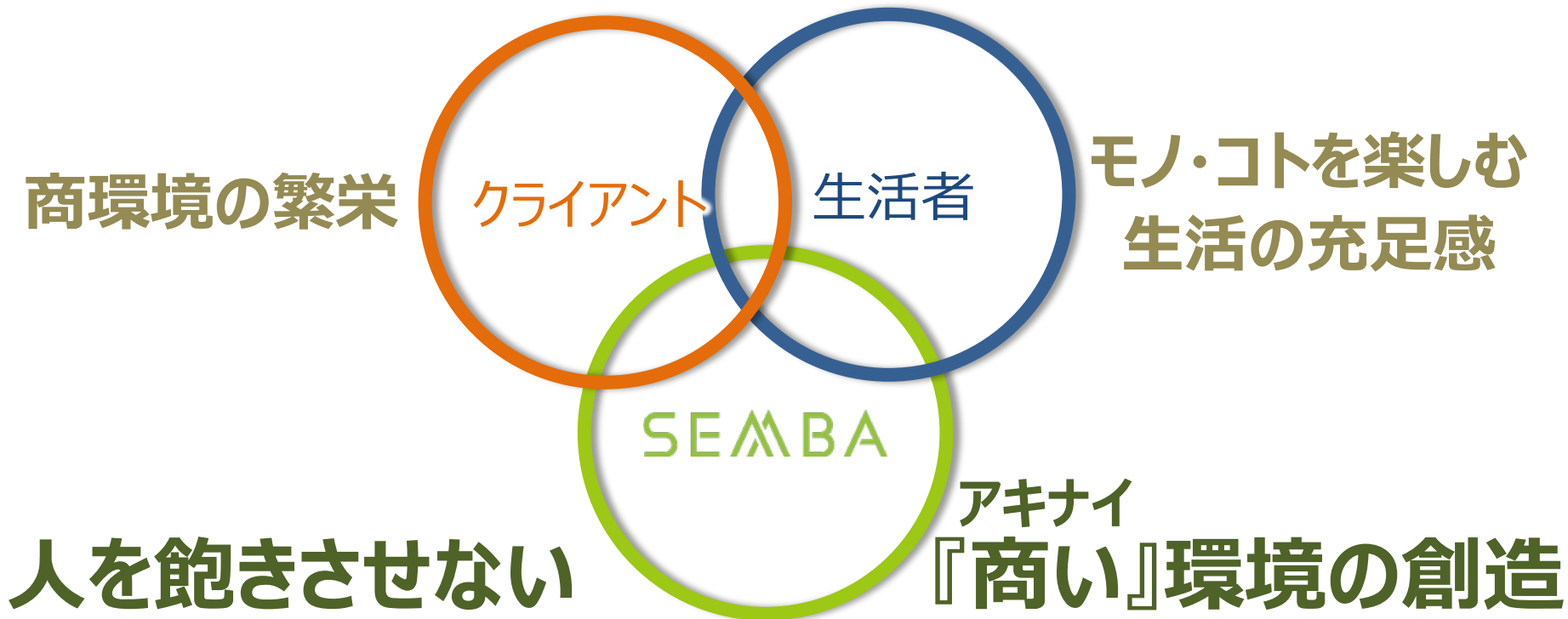
(参考)
企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA Corporation）
代表者	代表取締役社長 八嶋 大輔
創業	1947年（昭和22年7月）
設立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 9F
事業内容	(1) 商業施設及びインテリアの企画、設計、監理並びに施工 (2) 市場調査及び分析 (3) 商業施設の管理、運営、販売促進 (4) 陳列用品の設計、製作及び販売 (5) 一般建築業などの業務
従業員数	当社436名 グループ621名（2020年6月末）

サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて
社会の繁栄に貢献します。

クライアントの「サクセス」を共有し、実現する



商業施設づくりで培った「人を集める仕掛けづくり」



ワクワクドキドキする空間を
“具現化させる”

構想力

人・街・自然を
“親和させる”

設計力
(デザインワーク)

信頼できる品質を
“実現させる”

施工力

アジア圏に広がるグループネットワーク

＜海外拠点＞

マレーシア

(2019年設立)

ベトナム/ハノイ・ホーチミン

(2015年設立・2013年設立)

シンガポール

(1990年設立)

上海

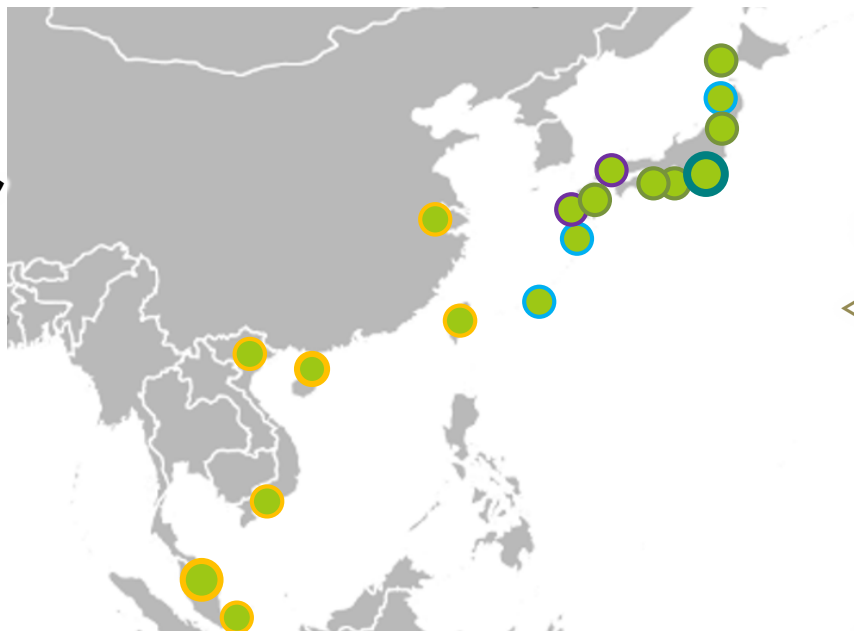
(2006年設立)

台湾

(1987年設立)

香港

(1984年設立)



東京本社

＜支店＞

北海道・東北
名古屋・大阪・福岡

＜生産管理センター＞

羽田

＜生産工場＞

出雲・熊本

＜地域法人＞

青森・鹿児島・沖縄

【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画部
E-mail : ir@semba1008.co.jp